

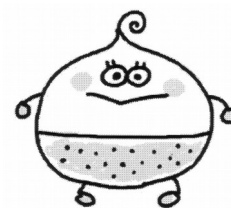
HDM推進会（第 52回）／ごみゼロネット推進会（第 74回）議事録

開催日： 2014 年 (H26 年) 7 月 9 日 (水) 10:00 ~ 12:00

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 大橋、加藤、平林、杉本、山本、林、桐生（作成）

議 題：



1. 熊谷清掃社・新HDM施設見学報告書の内容検討と討議

(1) 熊谷清掃社新HDM処理施設見学記（2頁：桐生）

- 総合報告書として判りやすく、全貌が把握できる。
- 二枚橋跡地の三鷹市割当地域を建設適地に擬しているが、近くに保育園が建設されたため不可能。
- 密閉建屋の換気量 $500\text{ m}^3/\text{H}$ は家庭用換気扇レベル。単位が違うようだ。

(2) 熊谷清掃社・HDMシステム生ごみ減容処理システム見学レポート（3頁：蜂谷）

- 臭気について詳細な指摘がなされている。①床面の粘着性汚泥が臭気源、②シューズカバーを靴に被せると良い、③見学者回廊を設けてはどうか、等具体的である。
- 図1「工程概念図」と説明文により、HDM処理の全貌を理解しやすく書かれている。

(3) 熊谷清掃社HDM施設（えこ☆WEST 20t／日処理）見学報告（1頁：加藤）

- 「自治体の導入状況」「熊谷清掃社」「えこ WEST 施設」について判りやすい解説があり、HDMの全貌が把握できる。
- 臭気についての指摘がある。

以上のように、全員、臭気について鋭い指摘がなされている。次回から、「HDMの臭気対策」を重要テーマとして取り組むことで意見が一致した。

2. ごみ処理施設建設基本計画書・エネルギー回収推進施設基本計画要旨抜粋説明（5頁：加藤）

- 既にホームページにアップされている。
- 膨大な資料であり、そこから加藤氏が我々に必要な箇所を5頁の要約板として提供された。
- 以下に要約項目を挙げる。新ごみ処理システムの整備／分別区分と収集体制／ごみ処理実績と計画処理量／H24年度3市の可燃ごみ等の排出実績／H32年度本施設の計画処理量／三市長覚書(H25/3/13)／公報ひの(H25/4/15)／クリーンセンターごみ処理施設の建て替え（広域化）について（市民説明会資料）／小金井市の可燃ごみ処理実績／収集・運搬・直接搬入に係わる整理／災害時の対応に係わる整理／計画ごみ質の設定／環境保全計画
エネルギー回収推進施設(焼却施設)基本計画／施設規模／処理方式の整理／一次評価／二次評価：「ストーカー式焼却方式+エコセメント、2炉、煙突高 39 m 」／熱回収設備／発電量試算まとめ：発電量 $4,583\text{ kW}$ 、場内使用 $1,000\text{ kW}$ 、売電 $3,685\text{ kW}$ 、発電効率 17.8% ／タービン容量／余熱利用施設／運転管理計画／計画ごみ量の設定／施設整備における基本方針
- 多摩地域26市の事業系持込ごみ手数料で、小平、多摩、八王子、東大和、東村山、町田、武蔵村山の各市は 25 円/kg 以下であるが、小金井市は 55 円/kg と突出して高い。
- 一次評価でバイオガス化、堆肥化、飼料化等を挙げているが、検討らしい検討をせず、お座なりの対応である。全体に始めから答ありきの計画書である。
- H32年度の小金井市の可燃ごみ量 $14,500\text{ ト}$ としているが、どこからこんな大きな値が出るのか。
- PFI方式の運営形態を挙げているが、実態は自治体の予算不足でしわ寄せが来て、殆どPFIが経営困難に陥っている。

以上